

塚口眞佐子 (TSUKAGUCHI Masako) 学芸学部 インテリアデザイン学科 准教授

略歴・学位等

最終学歴 1976年3月 神戸市外国語大学英米学科卒業
学 位 文学士 (神戸市外国語大学 1976年3月)
資格・免許 1985年4月 インテリアコーディネーター資格 (850223A)
1993年12月 2級建築士 (大阪 038829)



略 歴 1972～75年 株式会社全日本空輸スチュワーデス、1981～83年 E. C. C. 外語学院名古屋校高等専門課程教員、1985～91年 (株)INAX大阪支店 インテリアコーディネーター、1991年～現在 塚口建築研究室、2005～07年 大阪樟蔭女子大学助教授 2007年～現在 同大学准教授

教育・研究に係る職務

共通教育委員会委員 (大阪樟蔭女子大学 2005～07年) 国際交流委員会委員 (同 2005年～現在)
キャリアセンター運営委員会委員 (同 2007年～現在) マナー教育委員会委員 (同 2007年～現在)

教 育 活 動

担当科目 インテリアコーディネート論、総合設計デザイン演習C、カラーコーディネート演習、ホスピタリティ論、現代ファッションとインテリア、生活演出デザイン演習、基礎演習、(短期大学部にて) インテリアコーディネート論、(他大学にて非常勤講師として) 食空間デザイン論、食空間デザイン演習

大学開放等 相愛大学土曜公開講座「食の環境」(2000年) 相愛大学土曜公開講座「インテリアの社会背景を探る」(2002年) 大谷女子大学公開講座「食の環境」(1999年) 大手前大学シビックカレッジ「インテリア講座」(2004年) 大阪樟蔭女子大学公開講座講師「暮らしをよそおう」(2005年) 大阪樟蔭女子大学ホームカミングデー講座講師「インテリアカラーコーディネート」(2005年) 神戸松蔭女子学院大学土曜講座「テーブルコーディネート」(2008年)

他大学等 相愛大学発達栄養学部非常勤講師 (1999年～現在) 神戸山手短期大学生活学科非常勤講師 (1999～2005年) 大手前短期大学ライフデザイン学科非常勤講師 (2004～05年) 大阪府短期大学教員研修会講師 (1998年)

研 究 活 動

専門分野 インテリアコーディネート学 生活演出学 生活演出デザイン史論

研究課題とその概要

(課題1) インテリアデザインの実践とその蓄積
(概要) 現場仕事の実践の中で多数の実績を残している。特にメディアでのインテリアデザインやコーディネートに参画し永年に渡って継続して実践している。

(課題2) インテリアデザインとライフスタイルの史学的研究
(概要) 大阪大学西洋史研究室研究生として研究に着手し、研究を継続している。インテリアデザインや装飾は時代や社会を反映するものであり、特にモダンデザインの出現前後の歴史的必然性を取り上げている。

所属学会等 日本インテリア学会評議員、(社)日本インテリアデザイナー協会 (関西支部広報委員長、2003～07年、国際委員会委員長、2007年～現在) (社)建築士会 (社)建築協会

受賞・表彰 インテリア産業協会コーディネートコンテスト奨励賞 (1992年1月)、家庭画報コーディネートコンテスト大賞 (1993年10月)、インテリア産業協会コーディネートコンテスト支部長賞 (1994年1月)、INAXデザインコンテスト銅賞 (1995年10月)、INAXデザインコンテスト入賞 (1996年10月)、食博覧会レストランブースコンテスト内閣総理大臣賞 (1997年5月)、INAX店舗デザインコンテスト銀賞 (1998年10月)

社 会 活 動

社会教育 門真市市民大学講座講師 (2000年10月)、芦屋市男女協同参画社会講座講師 (2004年5月)、東大阪市岩田西小学校「総合的な学習時間」におけるインテリア教育 (2002年～不定期) セキスイインテリアカレッジの立ち上げと主講師 (1995～99年) 滋賀銀行カルチャーセンター「インテリア講座」講師 (1998～2001年)

その他各団体・企業主催インテリア講座講師

(社)インテリア産業協会、(社)インダストリアルデザイナー協会、大阪府家具連合会、セキスイハウス、パナホーム、阪急不動産、スウェーデンハウス、ABCハウジング住宅展示場、KTVハウジング住宅展示場、松下電工、関西電力、大阪ガス、日清食品、住友建設、日本板硝子、INAX その他多数

企業との共同研究

大和ハウス総合研究所と「リビングの快適性」研究において「空間構成の分析」をおこなう（1997年）

スウェーデンの地方自治体との交流をコーディネート

高齢者介護の研修のため、クライアント（病院理事長）とクリスティアンスタッド市との交流をコーディネート、これに関して毎年公開シンポジウムの開催を計画し運営コーディネートしてきた。（1998～2004年）このことがスウェーデンの新聞に掲載される。

メディアでの活動

朝日新聞記事掲載（1999年～現在継続中、おおむね季節ごとにインテリアに関する記事掲載）

サンケイ新聞掲載（2001年4月～6月、収納に関する特集連載記事）

大阪日日新聞連載（2004年10月～05年2月、インテリアをベースに社会啓蒙記事連載）

住友林業広報誌（1998～2001年まで、世界の木造建築の紹介記事と写真を連載）

滋賀銀行広報誌（1994～96年まで、スタイリングエッセイと演出写真を連載）

キッセイ薬品広報誌（2005年、4回にわたって世界の病院のインテリア紹介記事と写真を連載）

その他、ミサワホーム、住友不動産、などの広報誌に執筆多数

委員等 東大阪市公共事業評価委員会委員（2007年～現在）
東大阪市環境審議委員会委員（2007年～現在）
日経ニューオフィス賞審査委員（2005年～現在）
襖組合襖コンテスト賞審査委員（2009年）

受賞・表彰 大阪府知事表彰（2003年11月）

教育・研究・社会活動の方針

実務家教員としてデザイン、コーディネート現場の臨場感ある授業展開をおこなうと共に、学術的研究の領域にも触れた指導をめざしている。単なる技術者ではなく、インテリアに関するリベラルな教養知識の厚みのあるクリエイターを育てたいと願っているからである。それはプレゼンの際の説得力にもつながるものである。

また、人間性がどの領域でも重要視されている。話す力、クライアントの要求を察知する力、バランス感覚などのヒューマンスキルを高める指導を実践している。